

沈黙に白き人

沖縄戦聞き取り47年

石原 昌家

前回は、家永教科書裁判の「沖縄戦に関する部分」について14回にわたって連載してきた。この裁判の間中、私は北谷町の上勢頭、北中城村、浦添市城間、伊江村で戦争体験の聞き取り調査を実施していた。そのなかで沖縄の人が海外ではどのような戦争体験をしていたのか、「沈黙」で紹介することにより、多くの人の心に刻まれ、その体験を共有できる機会にしたい。

1人だけ生き残る
先輩同僚の高宮城繁さん
上勢頭での海外での体験は、中国大陸、中国海南島に収録してある。

上勢頭誌

中巻 通史編II
上勢頭郷友会

『上勢頭誌』中巻通史編II (1993年、上勢頭郷友会)

フィリピン、台湾、満州中
国東北部、朝鮮、ペリリ
ユール島、サイパン島など
軍人・軍属や移民者として
の体験であった。
「ここでは、サイパン島で
9歳のとき戦争孤児となっ
た沢岷安英さん(35年生)
の人間が人間でなくなる
極限状況の一部をたどる。
米軍がサイパン島へ上陸し
た。沢岷さんは父親が破壊
させた手榴弾で重傷を負い
ながらも、大家族の中で1
人だけ生き残ることになっ
た。米兵に救出され、野戦
病院で2世の看護婦さんの
手厚い看護をうけて、胸な
どに無数の小さな破片が入
ったまま88年7月現在も
生還し、収容所生活を送る
ことになった。沢岷さんの
もいて、人数分の食事が配
給されていた。しかし、ほ
くのような孤児に対し、
キャンプ内の大人たちが
はまず雨が降ろうが、夜に
なるうが、建物の中に入れ
てくれないのです。それで
ぼくは雨に濡れて木の下の
寝て、暮らしていました」
「さらに、配給も何もあ
てがわれずに、共同炊事で
食事を作っているが、何も
食べさせてくれないので
す。そこで僕のような孤児
の沢岷さんの体験を聞く
と、彼らも似たような境遇
にあってたのかと、いつも暗
い表情だったクラスの孤児
院生の顔が浮かんできた。
毎朝、首吊り死体
沢岷さんは、さらに度肝
を抜くような証言を続けて
いった。「キャンプは金網
が張られていて、自由の外
へ出ることは出来なかった
のです。僕はカマキリ(果
て埋めるのです。こうして
沢山墓ができるのでその間
のうねとなった、むきだし
の地面の上で寝たのです。
墓は木もないから死体がぶ
ら下がることもないので、
安心でした」
この証言は、沖縄戦で米
軍に保護され、山原方面の
難民収容所へ運び込まれて
も衰弱死し、その死体を大
きな穴を掘ってとんどん埋
めていったというのを思
い出させた。

サイパンの戦争体験 ①

想像絶する収容所

見捨てられた孤児、赤ん坊

た44年6月、マタシャ国民
学校3年生の沢岷さんは、
祖父、両親、兄、本人、
妹2人、弟、従兄弟2人の
11人が一軒家に同居してい
た。
激しい艦砲射撃の後、米
軍上陸のサイパン島は、追
いつめられた日本軍と住民
がパニック状態に陥り、日
本兵による住民殺害や住民
自身も手榴弾などを用いて
至る所で集団死していっ
た。
以後の孤児体験は想像を絶
する苦痛の連続だった。
「(野戦)病院から一般
住民の収容されているキャ
ンプに移された時、(米軍
に)病院で支給された衣服
を同じ沖縄人に身ぐるみ剥
ぎ取られてしまい、襦一本
になりました。自分の子供
は沖縄戦で孤児になった石
嶺孤児院(後に厚生園と称
す)生も混じっていた。こ
うして、人数分の食事が配
給されていた。しかし、ほ
くのような孤児に対し、
キャンプ内の大人たちが
はまず雨が降ろうが、夜に
なるうが、建物の中に入れ
てくれないのです。それで
ぼくは雨に濡れて木の下の
寝て、暮らしていました」
「さらに、配給も何もあ
てがわれずに、共同炊事で
食事を作っているが、何も
食べさせてくれないので
す。そこで僕のような孤児
の沢岷さんの体験を聞く
と、彼らも似たような境遇
にあってたのかと、いつも暗
い表情だったクラスの孤児
院生の顔が浮かんできた。
毎朝、首吊り死体
沢岷さんは、さらに度肝
を抜くような証言を続けて
いった。「キャンプは金網
が張られていて、自由の外
へ出ることは出来なかった
のです。僕はカマキリ(果
て埋めるのです。こうして
沢山墓ができるのでその間
のうねとなった、むきだし
の地面の上で寝たのです。
墓は木もないから死体がぶ
ら下がることもないので、
安心でした」
この証言は、沖縄戦で米
軍に保護され、山原方面の
難民収容所へ運び込まれて
も衰弱死し、その死体を大
きな穴を掘ってとんどん埋
めていったというのを思
い出させた。

共同便所の下に

沢岷さんは、さらに衝撃
的な証言をした。
「(収容所の)共同便所
は、穴を掘った上に長い板
を張って、そこに四角い穴
をあけてそこから用足す
るようになっていました。
周囲はテントを張りめぐら
して、一つの便所で七、八
人が用足しできました。キ
ャンプは広いからそれが十
か所ほどありました。そこ
ろが、便所の下をみたら、
赤やんを産み落としたた
か、なか(便所)で何人も
もがいているのがよく見え
ました。沢山赤ん坊が落ち
ていました。僕たち子供は
あちこちの便所を使用
します。こんなのはよく
見ました。戦争前に妊娠
した赤やんを便所で産み
落としたのか、生まれた赤
ちゃんを夜捨てていたのか
知りませんが、それ(捨て
る現場)はみたことばかり
ありません。赤やんが生き
ているのかもしれませんが、僕
たちは何にも感じませんで
した」
この収容所の共同便所に
ついては、沖縄戦で各地に
米軍が設置した形式と同じ
だったようであるが、この
衝撃的事例は初耳だった。
沢岷さんの証言は、同書
549〜556頁に載せて
ある。沢岷さんの衝撃的な
証言は、まだ続いている。
(次回は27日掲載)